無印良品

ＬＥＤアクリルペンダントライト・調色・調光機能付

保証書添付　保 存 用　**取扱説明書**

- お買い上げありがとうございました。
- この取扱説明書は、必ず保管してください。
- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

【注意図記号とシグナル用語の意味について】

⚠警告：誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるものです。

⚠注意：誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくものです。

：この記号は、注意(警告)をうながす内容があることを知らせるものです。

：この記号は、禁止の行為であることを知らせるものです。

：この記号は、行為をお守りいただく内容を知らせるものです。

器具取付時の安全上の注意

●ご使用の前に、この「器具取付時の安全上の注意」を、よくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警 告

精密機器のため落下などの衝撃を加えないでください。
器具の取り付けは、取扱説明書にしたがい、重量に耐える所に確実に取り付けてください。取り付けに不備があると落下し、感電・けがの原因となります。

表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。

風呂場など、水や湿気の多い場所で使用しないでください。漏電し、火災・感電の原因となります。

⚠注 意

器具取り付けの電源工事は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。
一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。

この器具は屋内用です。5℃～35℃の範囲内で使用してください。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると、漏電し、感電・火災の原因となることがあります。

使用時の安全上の注意

●ご使用の前に、この「使用時の安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警 告

布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。

本体を分解したり、部品の追加改造は絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。

器具の隙間や放熱穴に、金属類やもえやすいものなどを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。

お手入れの際には、必ず電源を切ってください。
電源を切らないと、感電の原因となることがあります。

点灯中・消灯直後はLED光源及び本体が熱いので手や肌などを、ふれないでください。LED光源及び本体周辺を触ると、やけどの原因となることがあります。

お手入れなどによりカバー、本体を外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けてください。不完全に取り付けると、落下してケガ・物損の原因となることがあります。

光源にはLEDを搭載しています。安全上、LED光源を直視することはおやめください。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切ってください。異常状態がおさまったことを確認して電気店に修理を依頼してください。

お手入れの際は、水洗いはしないでください。
火災・感電の原因となります。

⚠注 意

壁付調光器のある回路では使用できません。照明器具が故障します。

LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。

LED光源ユニットは、通常のランプのようにお客様自身での交換はできません。

明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店、電気店に修理を依頼してください。

この器具はリモコンスイッチで消灯してもリモコン部の回路が約1.0Wの電力を消費しております。節電のために長期外出の時には壁スイッチを切ってください。

万一、カバーなどが破損した場合、ケガの原因となることがありますので、破損部分に直接手や肌などをふれないでください。

暖房器具、ガス器具等の真上やその付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
(この製品は５℃～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。)

照射距離が近い場合や照射面等によって光ムラが発生することがありますがご了承ください。

販売元　株式会社良品計画

〒170-8424　東京都豊島区東池袋4-26-3

お客様室　0120-14-6404

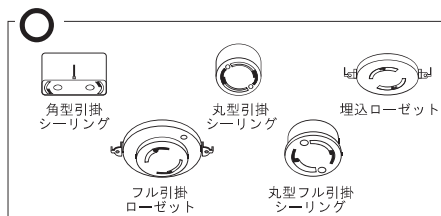
受付時間　平日10:00～21:00　土･日･祝10:00～18:00

製造元　株式会社キャリア

取付け前の確認

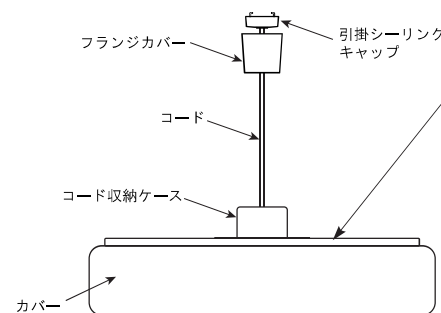
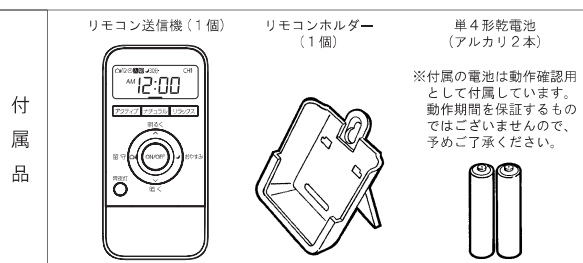
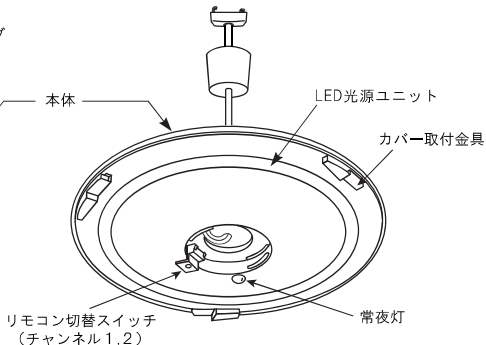
下図のようなアダプターが天井に設置されていれば取付け可能です。
アダプターが天井に確実に取付けられていることをお確かめください。

以下のような場合は取付けができません。
電気工事士の資格を持った電気工事店に依頼し、
左記いずれかを取付けの上ご使用ください。

- **引掛けシーリングが取付いておらず配線のみ出ている。**
- **引掛けシーリングが破損またはグラついている。**
- **電源端子露出型引掛けシーリングが取付いている。**
- **傾斜天井、押すと簡単にたわむ天井（補強の無い天井）。**

電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。器具が落下する恐れがあります。

各部の名称

この図は一部省略抽象化した図です。

〈機能紹介〉

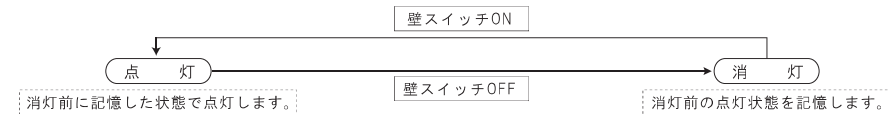
壁スイッチコントロール機能（3ページ）	壁スイッチの動作で明るさを切り替えることができます。
液晶表示（4ページ）	・現在時刻表示 ・留守タイマーセット表示 ・おやすみタイマーセット表示 ・現在のCH表示 ・現在の点灯モード表示
リモコン機能（5・8ページ）	リモコン送信機でLED光源ユニットの点灯や消灯等の操作ができます。
留守タイマー機能（9～11ページ）	お好きな時間に照明器具を自動で点灯、消灯できます。
おやすみタイマー機能（11ページ）	リモコン送信機のワンボタン操作で30分後又は60分後にLEDを自動で消灯させることができます。

点灯順序

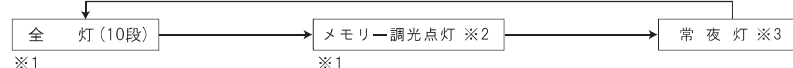
リモコン送信機での操作方法は、5・8ページをご覧ください。

壁スイッチコントロール機能（壁スイッチで点灯／消灯される場合）

点灯 → 壁スイッチOFF → 消灯
消灯 → 壁スイッチON → 点灯

点灯：消灯前に記憶した状態で点灯します。
消灯：消灯前の点灯状態を記憶します。

壁スイッチコントロール機能（壁スイッチで点灯状態を切り替える場合）

壁スイッチですばやく（約2秒以内）OFF→ON することにより次のように点灯順序が切り替わります。

※1　※1

注1）リモコンで消灯した場合に、壁スイッチですばやく OFF→ON すると消灯する前の点灯状態によらずメモリー調光点灯に切り替わります。

※1…アクティブ／ナチュラル／リラックスのいずれかの点灯モードで点灯します。（点灯モードについての詳細は8ページをご覧ください）
※2…メモリー調光点灯は記憶された明るさ/点灯モードで点灯します。
（明るく/暗くボタンで調節したお好みの明るさとお好みの点灯モードを自動的に記憶しています。）
ただし、最後に使用していた明るさが全灯(10段)の場合は、記憶された点灯モードの明るさ5段で点灯します。
※3…常夜灯の明るさは最後に使用していた明るさになります。
※4…壁スイッチでは、点灯モードを切り替えることはできません。
点灯モードを切り替えたい時は、リモコンの「点灯モード切り替えボタン」で切り替えることができます。
※5…壁スイッチで操作した場合、照明器具の明るさがリモコンに表示された明るさと異なることがあります。
その時リモコンの明るく/暗くボタンで明るさを調節すると照明器具がリモコンに表示された段数の明るさに切り替わります。

使用上のご注意

■点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがあります。

■本器具に添付のリモコン送信機は、本器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
また、テレビやビデオのリモコン送信機では、照明器具は作動しません。

■器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。

■壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。
壁スイッチON及び停電復帰後は、壁スイッチを切る前又は停電前の状態にもどります。

■本器具をご使用中あるいはリモコン送信機で消灯させた状態で停電した場合、停電から復帰したときは停電前の状態にもどります。

■３Ｄテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見えることがあります。

■３Ｄテレビを視聴している時は、リモコンが反応しにくい場合があります。

■リモコン送信機は器具に向けて操作してください。リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、器具が作動しませんので、しゃへい物を取除いて再度ボタンを押してください

■照明器具にリモコンの信号が届く範囲でご使用ください。
＊部屋の温度によっては、リモコンが動作しづらいことがあります。

■天井や、壁、床の色や材質によってはリモコンが動作しづらいことがあります。

■おやすみタイマー機能、留守タイマー機能をご使用になる場合は、あらかじめリモコンで照明器具が操作できる距離を確認してからご使用ください。

■ニッカド電池などの充電式乾電池は使用できません。

■乾電池は、単4形乾電池をご使用ください。

■アルカリ乾電池をご使用ください。
マンガン乾電池をご使用の場合は、電池の寿命が短くなり、また送信距離が短くなる場合があります。
電池寿命の目安（1日10回使用の場合）　アルカリ乾電池　約6ヶ月

■乾電池は、＋・－の極性を正しく入れてください。

■シンナー、ベンジンなどの揮発性のものやアルカリ系洗剤などを使用して本体を拭かないでください。
外郭強度の低下、変色、故障の原因になります。

取付上のご注意

壁付調光器のある回路では使用しないでください。

注意

本器具を取り付ける電源回路（壁スイッチ等）に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。右図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。（調光器の交換工事は電気工事士の資格を有した電気工事店に依頼してください。）

《調光器付壁スイッチ代表例》

リモコンの電池の入れかた

1. リモコン裏面の電池カバーを軽く押しながら手前に引いて外してください。
2. 単4形乾電池2本を、右図のように⊕⊖の向きを合わせてセットする。
3. 電池カバーをスライドさせ、カバーを閉じる。

リモコンの名称

留守タイマーセット表示
留守タイマーのセット状況が表示されます。（９ページ）

留守タイマー設定表示
留守タイマーの設定時に表示されます。（９ページ）

おやすみタイマーセット表示
おやすみタイマーのセット状況が表示されます。（11ページ）

現在のチャンネル表示
現在設定されているチャンネルが表示されます。

信号送信マーク
信号送信時に表示されます。

現在時刻表示

電池残量表示
電池残量が少なくなった時表示されます。（表示されたら電池の交換をおすすめします。）

現在の点灯モード表示
現在の点灯モードが表示されます。

点灯モード切り替えボタン
点灯モードを切り替えることができます。（５・８ページ）

留守タイマーボタン
留守タイマーの設定及びセットができます。（９ページ）

おやすみタイマーボタン
30分/60分のタイマー設定をすることができます。（11ページ）

常夜灯ボタン

点灯/消灯ボタン

調光ボタン
（明るく・暗く）

時刻設定ボタン
現在時刻の設定ができます。（５ページ）

チャンネル切替ボタン
３秒以上長押しすることでリモコン信号の送信チャンネルを設定します。照明器具を２台使用する場合など器具ごとに CH1 と CH2 で分けることができます。（７ページ）

LED光源ユニットを消灯させる時、常夜灯点灯/不点灯をチャンネルスイッチによって選ぶことができます。（10ページ）
●チャンネルスイッチがCH1の場合
常夜灯を点灯させておきたいときにご使用ください。
●チャンネルスイッチがCH2の場合
常夜灯を消灯させたいときにご使用ください。

調光ボタンを押すと、調光段数（1～10段）が表示されます。
※常夜灯時は1～７段で表示されます。

時刻の合わせかた

時刻設定ボタンをAM/PM 表示が点滅するまで長押ししてください。
※右図液晶画面の は、点滅状態を示しています。

時刻設定前
AM？ PM？
↓

明るく/暗くボタンを押して、AM/PM を選びます。（例として午前９時の設定をします。）

↓

AM/PMが決まれば ON/OFF ボタンを押します。

↓

AM/PMが決定され、時刻表示が点滅します。

時刻設定
↓

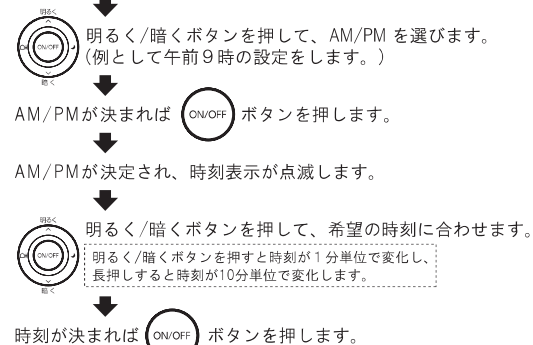
明るく/暗くボタンを押して、希望の時刻に合わせます。
明るく/暗くボタンを押すと時刻が１分単位で変化し、長押しすると時刻が10分単位で変化します。

↓

時刻が決まれば ON/OFF ボタンを押します。

↓

時刻の点滅が停止し、時刻が設定されました。

時刻設定完了
AM 9:00

注）設定を間違えた場合/設定の途中に他の操作を行いたい場合
設定の途中で操作をやりなおすことや他の操作を行なうことはできません。一度設定を完了させてから再度設定及び他の操作を行ってください。

リモコンの操作方法

点灯/消灯させたい場合

ON/OFFボタンを押すと点灯/消灯します。
（点灯時は記憶された明るさ/点灯モードで点灯します。）
※ON/OFFボタンで消灯する際、ゆっくり消灯していきます。

常夜灯を点灯させたい場合

常夜灯ボタンを押すと、常夜灯のみ点灯します。

調光させたい場合

明るく/暗くボタンを押すと１～10段調光が１段ずつできます。（常夜灯時は１～７段の調光）

点灯モードを切り替えたい時

アクティブ：アクティブボタンを押すと昼光色(白い光)で点灯します。【アクティブモード】

ナチュラル：ナチュラルボタンを押すと昼白色(昼光色＋電球色)で点灯します。【ナチュラルモード】

リラックス：リラックスボタンを押すと電球色(暖かい光)で点灯します。【リラックスモード】

※点灯モードが切り替わる場合は、明るさが全灯(10段)状態になります。

詳細及びその他の機能は８～11ページを参照してください。

※壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください。

注）この器具を使用中に、調光・点灯モードの切替を繰り返す場合は、デモモード機能状態になっています。故障ではありません。
下記の解除方法を行ってください。（デモモード：基本的に店頭等にて、お客様に説明させて頂くためのモードです）

〈解除方法〉 一度電源を切り、器具本体側チャンネルとリモコン送信機チャンネルを「２」に合わせてください。30秒以上あけて再度電源を入れ、５秒以内にリモコン送信機を器具に向けた状態で右記の通りにボタンを順番に押し、デモモード機能を解除してください。（「ピーッ」という音ともに解除されます。）

器具の取付方法

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行ってください。

1．天井の引掛シーリングを確認する

取り付け可能な
引掛シーリング

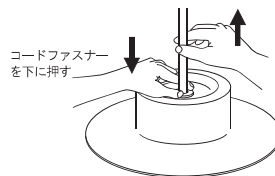
下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。
（ガタつきや破損がないことを確認して下さい。）

2．コードの長さを決める

あらかじめ天井と器具の間隔を定め、下図の要領でコードの長さを調整します。

短くする

コードを、コード収納ケースのコードファスナーの中へ押し込む

長くする

コードファスナーを下に押しながら、コードを引き出す。

コードの長さを調節し終えたら、コードファスナーを水平に止まるまで引き上げて、コードを固定してください。

重要ポイント

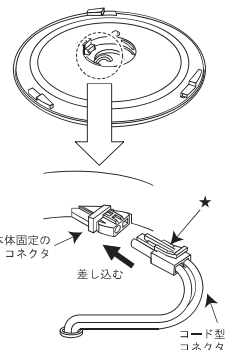
コードを長くする際に、コードが引き出しにくい場合、コードを再度押し込んで左右どちらかに回しながら、コードを引き出してください。

⚠警告　落下のおそれあり

コードの固定が不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

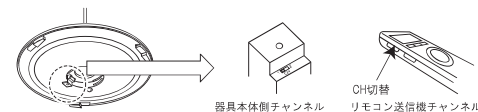
3．コネクタの接続を確認する

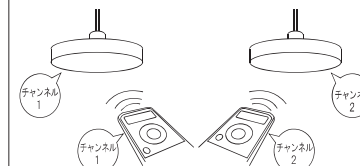
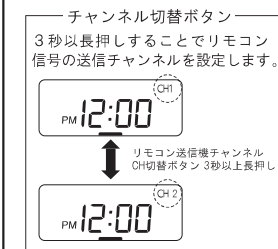
コネクタが接続されている
ことをご確認ください。

製造時にコネクタの接続は行っておりますが、何らかの振動などにより外れている場合があります。
今一度コネクタの接続を確認して外れていた場合は下記の通り接続を行ってください。

★の部分を押さえずに、コード型のコネクタを引っ張り抜けないことを確認してください。

4．リモコンのチャンネルを設定する

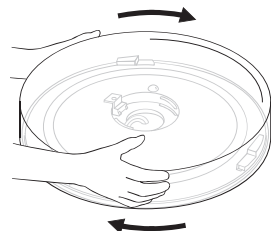
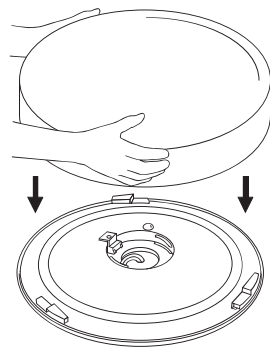
1つのリモコン送信機で２台の器具を別々に操作することができます。
必要に応じ、本項をご参考のうえ設定してください。

■１台のみ操作する場合
器具本体側のチャンネルとリモコン送信機チャンネルを同じチャンネルに合わせてください。
（出荷時のチャンネルは、器具本体側・リモコン送信機共、チャンネル１に設定しています。）

■２台の器具を別々に操作する場合
（１つのリモコン送信機で２台の器具を別々に操作することができます。）
１台目の器具本体側チャンネルを「1」、もう１台の器具本体側のチャンネルを「2」に合わせてください。リモコン送信機のチャンネルを操作したい方の器具のチャンネルに合わせ、器具を操作してください。

チャンネル切替ボタン
３秒以上長押しすることでリモコン信号の送信チャンネルを設定します。

5．アクリルカバーを取り付ける

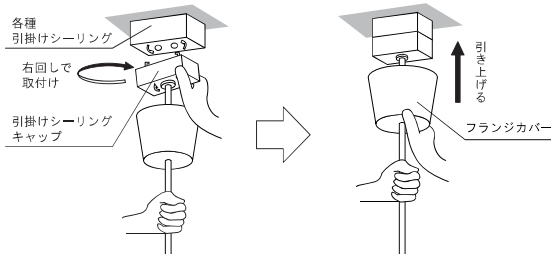
※カバーを取り付けずに点灯するのはおやめください。

①床やテーブルのうえに器具を逆さに置き、アクリルカバーをかぶせます。

②パチンと音がするまでアクリルカバーを右に回します。本体が回転してしまう場合は、本体が回転しないように押さえながらアクリルカバーを回してください。

⚠警告　落下のおそれあり

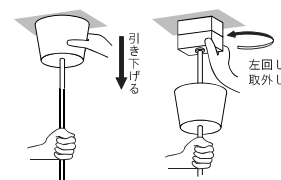
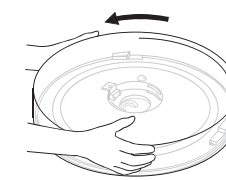
アクリルカバーの取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

6．引掛けシーリングに取り付ける

天井の引掛けシーリングに引掛けシーリングキャップを差込み、右に回して取り付けます。最後まで確実に回してください。
フランジカバーを天井面まで引き上げて、取り付け完了です。

⚠警告　感電・落下のおそれあり

・取り付けには大人二人以上でおこなってください
・下に物がないことを確認して下さい。
・感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行ってください。
・取り付けが不完全な場合は、落下によるけがの原因となります。

器具のはずしかた

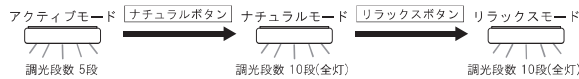
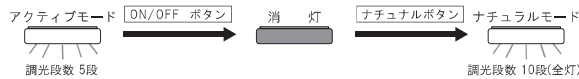
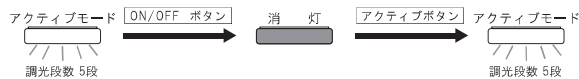
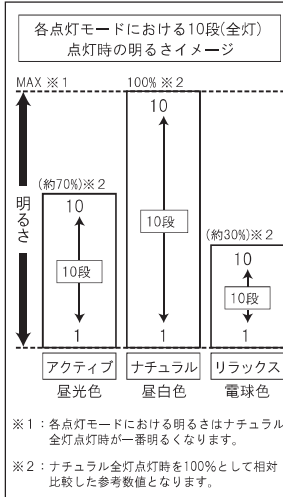
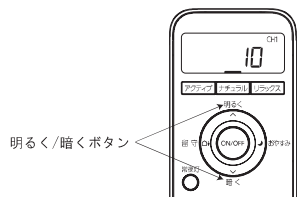
■器具のはずしかた
取りはずし時はフランジカバーを引き下げ、引掛シーリングキャップを左回しで取りはずしてください。

■カバーのはずしかた
床やテーブルのうえに器具を逆さに置き、アクリルカバーを左に回します。本体が回転してしまう場合は、本体が回転しないように押さえながらアクリルカバーを回してください。

⚠警告　感電・落下のおそれあり

・取り付けには大人二人以上でおこなってください
・下に物がないことを確認して下さい。
・感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行ってください。
・取り付けが不完全な場合は、落下によるけがの原因となります。

点灯状態切替の操作方法

点灯モードを切り替えたい時

点灯モード切り替えボタン(アクティブ／ナチュラル／リラックス)を押すと現在の点灯モードが表示され、各点灯モードの調光段数10段(全灯)で点灯します。
※常夜灯及び消灯時に記憶している点灯モードと同じ点灯モード切り替えボタンを押すと、消灯前に使用していた明るさで点灯します。
（常夜灯・消灯前に点灯させていた点灯モード及び明るさを自動的に記憶しています。）

注1）各モードで点灯している時に同じ点灯モード切り替えボタンを押しても変化しません。
注2）壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。
壁スイッチで点灯させてからリモコンでの操作を行なってください。

明るさを変えたい時

■明るく／暗くボタンを長押しすると連続で明るさが調光します。
１段(10%) ←→ 10段(全灯)
お好みの明るさになったところでボタンを離すとその明るさで点灯します。

■明るく／暗くボタンを短押しすると１段ずつ明るさが調光します。
１段(10%) ←→ ２段 ←→ ３段 ←→ ・・・９段 ←→ 10段(全灯)
ボタンを押すごとに１段ずつ変化します。

※常夜灯も調光することができます。
明るく／暗くボタンを長押しすると１段 ←→ ７段 で連続で調光します。
短押しすると１段 ←→ ２段 ←→ ・・・６段 ←→ ７段 で１段ずつ調光します。

注１）１段(10%)及び10段(全灯)点灯時のみ「ピッ」と音がなります。
※常夜灯時は１段及び７段で点灯した時のみ「ピッ」と音がなります。
注２）照明器具の明るさがリモコンに表示された明るさと異なっている場合、リモコンの明るく／暗くボタンで明るさを調節すると照明器具がリモコンに表示された段数の明るさに切り替わります。
注３）壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。
壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください

留守タイマーの時刻設定方法

《留守タイマー機能》

お好みの時間にLED光源ユニットを自動で点灯、消灯（消灯→点灯）させることができます。
また、２種類(留守１、留守２)の設定を登録させておき毎日同じ時間に動作させることができます。

工場出荷の留守タイマーのメモリ状態

	タイマー入	タイマー切	予約表示
留守1	AM6:00	AM11:00	なし
留守2	PM5:00	PM11:00	なし

設定をまちがえた場合　設定の途中で操作を取り消すことはできません。一度設定を完了させてから再度設定しなおしてください。

注）電池交換した場合、留守タイマー設定がリセットされますので再度設定を行ってください。

留守タイマー時刻設定方法

①：留守ボタンを留守設定表示が点滅するまで長押しする。
液晶画面が右図のように表示され留守設定１が点滅します。
※ は点滅状態を示しています。

②：明るく/暗くボタンで留守設定番号(留守1/留守2)を選択する。
明るく/暗くボタンを押すごとに液晶画面の留守設定表示の点滅が右図のように切り替わります。
留守１を選択する場合 → 1 を点滅させます。
留守２を選択する場合 → 2 を点滅させます。
明るく/暗くボタン

③：ON/OFFボタンを押す。
液晶画面に右図のように②で選択した留守設定番号（1 又は 2）と 入 が表示され『AM』『PM』又は『ー：ーー』表示が点滅します。

④：明るく/暗くボタンで自動点灯をする又は自動点灯しないを選択する。
明るく/暗くボタンを押すごとに液晶画面の『AM』『PM』『ー：ーー』の表示が右図のように切り替わり点滅します。
明るく/暗くボタン　明るく/暗くボタン
午前の時刻に点灯させる場合に選択します。
午後の時刻に点灯させる場合に選択します。
自動点灯しない場合に選択します。
⑦項へ

⑤：ON/OFFを押す。
液晶画面の時刻表示が点滅します。

⑥：明るく/暗くボタンで点灯時刻を設定する。
明るく/暗くボタンで点灯させたい時刻に合わせる
明るく/暗くボタンを押すと１分単位で変化します。
明るく/暗くボタンを長押しで10分単位で変化します。

⑦：ON/OFFを押す。
液晶画面に右図のように②で選択した留守設定番号（1 又は 2）と 切 が表示され『AM』『PM』又は『ー：ーー』表示が点滅します。

⑧：明るく/暗くボタンで自動消灯をする又は自動消灯しないを選択する。
明るく/暗くボタンを押すごとに液晶画面の『AM』『PM』『ー：ーー』の表示が右図のように切り替わり点滅します。
明るく/暗くボタン　明るく/暗くボタン
午前の時刻に消灯させる場合に選択します。
午後の時刻に消灯させる場合に選択します。
自動消灯しない場合に選択します。
⑪項へ

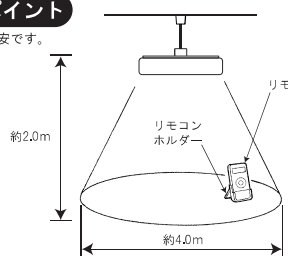
⑨：ON/OFFを押す。
液晶画面の時刻表示が点滅します。

⑩：明るく/暗くボタンで消灯時刻を設定する。
明るく/暗くボタンで消灯させたい時刻に合わせる
明るく/暗くボタンを押すと１分単位で変化します。
明るく/暗くボタンを長押しで10分単位で変化します。

⑪：ON/OFFを押す。（これで留守タイマーの設定は完了です。）
液晶画面が右図のように現在時刻表示画面に戻り、②で選択した留守設定番号（1 又は 2）が表示されます。

注1) 同じ留守設定番号で自動点灯しない、自動消灯しないを設定した場合でも、その留守設定番号は表示されます。
注2) 同じ留守設定番号で自動点灯/自動消灯の時刻を同じにすることはできません。(設定しようとすると『Err』の表示がされます。)
注3) 自動点灯を設定した場合、記憶された明るさで点灯します。(明るく/暗くボタンで調節したお好みの明るさとお好みの点灯モードを自動的に記憶しています。)
注4) 壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください。

留守タイマー時刻設定例

※画面は表示例です。実際の表示と異なる場合があります。

留守タイマーセット方法

おやすみタイマー設定方法

《おやすみタイマー機能》

30分後又は60分後にLED光源ユニットを自動で消灯させることができます。

《設定方法》

《液晶表示》

おやすみタイマー設定されていない状態で

おやすみボタンを１回押すと、60分おやすみタイマーが設定されます。

おやすみタイマー表示の場所に60分と表示

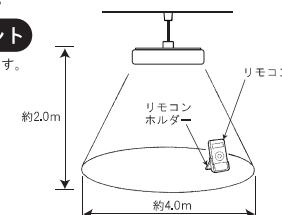
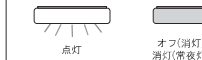
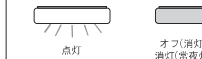
おやすみタイマー設定されていない状態で

おやすみボタンを３秒以内に続けて２回押すことにより30分おやすみタイマーが設定されます。

おやすみタイマー表示の場所に30分と表示

おやすみタイマー設定された状態で

おやすみボタンをさらに１回押すと、おやすみタイマーが解除されます。

何も表示されなくなります。

※壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作はできません。壁スイッチで点灯させてから、リモコンで操作を行なってください。

定　　格

定格電圧	定格周波数	定格消費電力	入力電流
AC100V	50Hz / 60Hz	50W（ナチュラルモード）（アクティブモード時：34W　常夜灯のみ点灯時：約1W　リラックスモード時：16W　リモコンOFF時：1W以下）	0.51A

LED照明器具の光源の推定寿命は、40000時間です。
光源寿命とは点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。　※40000時間は、寿命を保証するものではありません。

お手入れのしかた

お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。

・明るく安全に使用していただくため、定期的（6ヶ月に1回程度）に清掃、点検してください。
・ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
　変質の原因になります。
・器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。
・カバー等、樹脂部分の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。

故障？と思われたら

ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。
下表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お買い上げの販売店へご持参ください。

故障の状態	主な原因
点灯しない	コネクタが正常に差し込まれていない。
	照明器具の壁スイッチがオフになっている。
点灯しない時がある	リモコンでOFFにした後、壁スイッチにて約2秒以上かけてゆっくりOFF/ONしている。 リモコンで再度ONにするか、壁スイッチにて約2秒以内にすばやくOFF/ONする。
勝手に点灯・消灯する	留守タイマーがセットされている。
明るさが勝手に変わる 点灯モードが勝手に変わる	デモモード機能状態になっています。 5ページの「LED光源ユニットが調光・点灯モードの切替を繰り返す場合」に従いデモモード機能を解除してください。

故障の状態	主な原因
照明器具を操作できない	照明器具の壁スイッチがオフになっている。
	リモコンの電池が残り少なくなっている。
	リモコンの電池の極性⊕⊖が間違っている。
	チャンネルスイッチが合っていない。
液晶表示がでない	リモコンの電池の極性⊕⊖が間違っている。
	リモコンの電池が残り少なくなっている。
留守タイマー スリープタイマーが動作しない	リモコンがホルダーに入っていない。
	リモコンが信号の届かない場所に置かれている。

アフターサービス

◎保証書は、「お買い上げ日・販売店名」の記入をご確認の上、よくお読みになり大切に保管してください。◎保証期間は、お買い上げ日から1年間です。保証期間中でも有償修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。◎修理を依頼されるときは、分解したり手を加えずに、お買い上げの販売店もしくは「お客様室」にご相談ください。◎保証期間中の修理は、保証書の規定により無償修理致します。商品に保証書を添えて、お買い上げ販売店もしくは「お客様室」へお申し付けください。◎保証期間が過ぎている製品は、お客様のご要望により有償修理を承ります。お買い上げの販売店、もしくは「お客様室」へご相談ください。◎修理部品は、一部仕様や色を変更することがあります。ご了承ください。

LEDアクリルペンダントライト・調色・調光機能付　保証書				
お買い上げ日		年　　月　　日	保証期間	お買い上げ日より 1年間（本体）
お客様	お名前	ふりがな　　　　　　様		
	ご住所	〒　　　電話　（　　）		
販売店	店名 住所	電話　（　　）		

無料保証規定

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合に、商品と本書を持参の上、お買い上げの販売店へご持参ください。なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の際は、お買い上げの販売店、もしくは「お客様室」へご相談ください。
2. ご転居、ご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理依頼できない場合には、「お客様室」へご相談ください。
3. 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

   A. ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷　B. お買い上げ後の落下や転倒、輸送などで生じた故障及び損傷　C. 火災、地震、風水害、落雷、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源で生じた故障及び損傷　D. 業務用など、一般家庭以外でのご使用による故障及び損傷　E. 本書のご提示が無い場合　F. 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入が無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合　G. ご使用によるキズ、変色、汚れ、および保管上の不備による損傷　H. 消耗部品の交換
4. 出張修理や商品を修理窓口へ送付された場合の諸費用は、お客様のご負担になります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
   ◎この保証書は本書によって明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。ご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様室」へご相談ください。◎お客様にご記入いただいた保証書(個人情報)は、修理・サービスに利用させていただく場合がございますので ご了承ください。